受 理 番 号	請 願 第 3 6 号
件 名	香 害 の 対 策 に つ い て
要 旨	<p>「香害」とは合成洗剤や柔軟仕上げ剤、消臭スプレー、香水などに含まれる成分（化学物質）によって様々な健康被害が生じることをいう。化学物質過敏症は、ごく微量の化学物質に反応して体調不良を起こす疾病である。発症のきっかけ、症状及びその度合いは個人差が大きいことが特徴で、症状が悪化すると学校に行くことも働くことも困難になる。身体的苦痛はもちろん、周囲の無理解による孤独感、経済的な困窮による不安や絶望感など、精神的苦痛が付随してくる。近年では、柔軟剤等の日用品に含まれる成分で発症する人が増えており、香害との関連も示唆されている。</p> <p>しかし、現在、この病気の社会的認知度は低い。化学物質過敏症の診断書の書ける医師は国内に数名しかおらず、誤った診断や不適切な処置により体調を悪化させる人が多いことが懸念される。化学物質過敏症を発生させない、悪化させないために社会的対策を講ずる必要がある。</p> <p>ついては、下記の事項を連署をもって請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 香害に対する一般市民の認知度はまだまだ低く周囲の理解が得られにくいため国等が作成しているポスターやチラシなどにより、広く啓発を行うこと。 2 化学物質過敏症は、今後増加することが懸念されているが、健康に影響を引き起こすメカニズムや原因物質は不明である。国が率先して原因や治療法に係る調査や研究体制の整備等を行う必要があるため、国等に働き掛けを行うこと。